



おかやま環境ネットワーク

NO.75
2014.5

NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

『助成活動報告会』のご案内

～県下の環境と環境に関わる活動について、語り、考えましょう！～

岡山で環境活動を行う団体や個人が集い、日ごろの活動紹介や、相互のネットワーク形成をとおり、地域での環境活動がより広がる機会になることをめざし開催します。

- ◆日時：5月31日(土) 13時～16時
- ◆定数：50名
- ◆申込：5月23日(金)までに下記「参加申込書」、または「参加申込書」の内容をご連絡ください。
- ◆スケジュール(予定) 12:30～受付
 - ・13:00～ 開会挨拶
 - ・13:10～ 2013年度助成活動報告(前半4団体)・休憩・助成活動報告(後半4団体)
 - ・15:00～ 交流 ※コーディネーター:青山勲おかやま環境ネットワーク代表理事
質疑応答と各団体へおかやま環境ネットワーク役員から感想
 - ・16:00 終了
- ◆会場:オルガ5階スカーレット(岡山市北区奉還町1-7-7)
- ◆参加費:無料 ※資料の準備の都合上、要申込

◆助成活動報告団体一覧

	団体名	企画名
1	里海づくり研究会議	日生の海の歴史が育んだ地域知にもとづく里海像の設計
2	おかやまコープ倉敷エリア	瀬戸内の海を知ろう～漁業を通して～
3	あかいわ美土里の和	里山再生プロジェクト
4	千年の森づくりグループ	森・棚田・竹林の維持・保全活動、感謝のつどい開催
5	旭川源流大学実行委員会	旭川源流大学 旭川まるごと探検隊
6	岡山野生生物調査会	ワイルドライフ ウォッチング
7	真庭ハンザキ調査団	まだまだ調べる 真庭のハンザキ
8	おかやまエコマインドネットワーク	自然エネルギーってなんだ?ワークショップ

※2015年度助成事業への応募を検討されている皆様は是非ご参加ください。

※2013・2014年度助成を受けられている団体は必ずご参加ください(応募要件です)。

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などには行いません。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)

Tel/Fax:086-256-2565 E-mail:kankyounet@okayama.coop

..... 切り取り線

フリガ 氏名		電話 番号	
住所	(〒 -)		
E-mail	団体 名	※個人の方は記入不要です	

2015年度環境活動団体助成・協働事業 募集要項

1. **目的**：岡山県内で環境保全活動を行っている団体に資金の面から援助することにより、環境問題の解決に寄与します。また、おかやま環境ネットワークとの協働事業の提案を募集し相乗効果が期待できる事業化を図ります。
2. **募集対象**：目的に添ったいずれかの分野で意欲のある取り組みをしている団体であれば応募できます（当財団の会員に限定していませんが、入会をおすすめします）。ただし、申請は1団体1件とします。小・中・高等学校のクラブ活動等の場合は教師が申請することとします。当財団以外に助成の申請をしている場合、又は助成が決まっている場合は、その助成内容が重複しない範囲とします。
 - ・将来的に発展性のある活動を対象とします。
 - ・広く公開され、広報に努めていること。また、活動の成果が広く県民に普及し、県民の環境意識の向上につながり、環境保全・環境創造につながるもの。
3. **助成の対象となる活動**：①. 調査研究、②. おかやま環境ネットワークとの協働事業、③. その他
4. **助成の対象となる実施期間**：2015年4月1日～2016年2月28日
5. **助成対象費目**
 - ①. 器具備品費：目的の達成に必要な器具、備品、書籍等（ただし、汎用性のあるものは対象外）
※汎用性とみなすもの：パソコン、カメラ、携帯電話、草刈り機等
 - ②. 物品資材購入費：目的の達成のために用いる各種材料、部品、薬品、文具類等
 - ③. 借料：会場借料、車両借料、機械などのリース及びレンタル料等
 - ④. 印刷費：報告書、チラシ作成等にかかわる印刷費（コピー代含む）等
 - ⑤. 通信交通費：送料、移動費用等 ※電話代は対象外
 - ⑥. 謝金：外部講師・専門家などへの謝金 ※助成申請団体の構成員への支払は対象外、単価と人数を記入してください。
6. **助成額**：1件あたりの助成額は、調査研究分野と協働事業提案は20万円、それ以外は10万円を上限とします。
7. **応募締切**：2014年10月15日午後5時必着
※提出書類に不備等がある場合、受付できませんので、早めにご相談・ご提出ください。
8. **応募方法**：「助成事業・協働事業要望書」と「団体紹介表」に必要事項を入力の上、Eメールで送信ください。フォーマットは、ホームページから入手できます。
※協働事業につきましては、要望書提出後、別途内容の聞き取り確認をさせていただきます。
9. **助成の決定とその後の手続**：選考は目的に沿った活動を重視し、必要性、将来性のある具体的な計画案であることを検討します。助成部会の審査を経て、2014年12月度理事会で助成額を含め助成の可否を決定し、その後選考結果を送付します。
決定通知を受けた団体は同時に送付する「申請書」と「誓約書」を事務局に提出してください。助成金は「申請書」と「誓約書」が提出された後、2015年5月若しくは6月にオルガ（岡山市北区奉還町1-7）で開催予定の『助成活動報告会』（参加は必須要件）参加後に、指定の銀行口座に振り込みます。
10. **活動報告など**
 - ・助成を受けた全団体は助成活動終了後、「終了報告の手続き」に沿って「活動実績報告書」と「会計報告書」を提出し、『助成活動報告会』に出席し事業の成果を報告してください（必須要件）。調査研究の部門で助成を受けた団体は成果物（論文等関連資料）も提出し、報告会で成果報告をしてください（必須要件）。助成終了後に活動がその後どのようなになっているのかを、当財団より聞き取りさせていただく場合もあります。
 - ・成果物及び報告書は広く当財団のホームページ等で広報します。
 - ・成果物及び報告書は必ず電子媒体で提出してください（ただし、成果物の電子媒体での提出が難しい場合は、現物を提出してください）。また、活動内容を写した写真データも提出してください。
 - ・助成期間終了時に余剰金が生じた場合や、期限までに報告書類の提出がない場合及び申請内容以外で使用した場合は返金させていただきます。

公益財団法人おかやま環境ネットワーク（岡山つながる・ひろがるESD事業）

2014年度『市民のための環境講座』

	日程	テーマ・概要	講師
1	6/21(土) 10時	加速する地球温暖化と人類の未来～IPCC第5次報告書の警告～ ※認定特定非営利活動法人 おかやまエネルギーの未来を考える会・協賛	NPO法人CASA専務理事 早川光俊氏
2	9/6(土) 13時	環境問題を捉える視点 ～ワークショップ～ 環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためです。環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かを考えながら、環境問題の解決策について議論します。	吉備国際大学社会科学部教授 井勝久喜氏
3	10/4(土) 10時	岡山県における水産業の現状と課題 ～瀬戸内海はきれいになったの？豊かになったの？～	NPO法人里海づくり研究会議事 田中丈裕氏
4	12/13(土) 13時	こんなに捨てられている！ 食べられる食品 日本の食糧自給率は先進国の中でも低く、輸入に頼っている状況にも関わらず、まだまだ食べられる食品が日々たくさん捨てられています。その有効活用やそこから始まる人と人のつながりについて改めて考えてみませんか。	NPO法人フードバンク岡山理事長 糸山智栄氏
5	1/10(土) 10時	岡山県の気候変動について（仮） 住んでいる地域の気象の特性や災害の起こるメカニズムについて、理解をすすめてみましょう。	岡山地方気象台職員 ※講師は調整中
6	1/24(土) 10時	PM2.5について ～国境を越える汚染物質 酸性雨、光化学スモッグ、黄砂～	岡山理科大学理学部特任教授 野上祐作氏
7	2/14(土) 13時	人間活動が地球に与える影響～環境問題の根本を考える～ 人類社会が持続するためには、[人間活動量] < [生態系の能力] が根本条件です。人間活動量をエコロジカル・フットプリントといい、その指標の考え方を説明します。	元岡山大学准教授 白井浩子氏
8	2/28(土) 10時	放射能は人の健康や環境にどのような影響を及ぼすのか ～原子力発電と放射能問題、その後の福島・今後の福島～	岡山大学名誉教授 青山勲氏

※本講座は「岡山県生涯学習大学連携講座」「岡山つながる・ひろがるESD事業」として開催します。

●会場：オルガ5階（岡山市北区奉還町1-7-7） ●時間：各2時間を予定しています

●受講料：無料 ●必ず事前にお申込みください。定数を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外での使用や第三者への開示などは行いません。

◆当日参加できない方向けに、当日資料・音声CDをおかやま環境ネットワーク会員の皆様には500円（送料込）、一般の方には1,000円（送料込）で送付します（講師の了解のない場合は実施できませんのでご了承ください）。資料送付を希望される方は、下記申込書でお申込みください（代金はお届け後、郵便局でお振り込みください）。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）

TEL/FAX:086-256-2565

E-mail :kankyounet@okayama.coop

..... 切り取り線

2014年度『市民のための環境講座』参加申込書

フリガナ 氏名															
住所	〒														
電話						FAX									
携帯電話															
E-mail															
申込日に○を	6/21		9/6		10/4		12/13		1/10		1/24		2/14		2/28
資料送付希望日に○を	6/21		9/6		10/4		12/13		1/10	無	1/24		2/14		2/28

公益財団法人おかやま環境ネットワーク(岡山つながる・ひろがるESD事業)

体験プログラムのご案内

※全て応募者多数の場合抽選、参加の可否並びに、参加予定者には、詳細案内を郵送します。

I. 『海ホテル夜間観察会』～きれいな海辺環境を示す生物の一つです～

- ◆日時：7月12日(土) 18時～23時30分
- ◆内容：海ホテルなど夜の海辺生物観察
- ◆定員：40名(全員バスで移動) ※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先。
- ◆参加費：1人500円、年齢関係無、おかやま環境ネットワーク個人会員及び同居家族は無料(年会費2,000円)
- ◆応募資格：小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみの参加可
- ◆スケジュール予定 ※交通事情等により時間は前後する場合がありますので、予めご了承ください
 ・18:00～オルガ前出発(岡山市北区奉還町1-7-7) ・19:15 コープ倉敷北出発 ・20:00～現地観察会、
 ・21:45現地出発、22:30コープ倉敷北、23:30オルガ着・解散
- ◆申込：6月20日(金)までに「参加申込書」を郵送、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。

II. 『高島干潟 いきもの観察会』～干潟の役割とその大切さを実感しよう!～

- ◆日時：8月9日(土) 13時～17時
- ◆内容：干潟のいきもの観察
- ◆定員：50名 ※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先。
- ◆参加費：1人500円、年齢関係無、おかやま環境ネットワーク個人会員及び同居家族は無料(年会費2,000円)
- ◆応募資格：小小学3年生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみの参加可
- ◆スケジュール予定 ※当日運営等により時間は前後する場合がありますので、予めご了承ください
 ・13:00集合(新岡山港フェリー乗り場) ・14:00～16:00 現地いきもの観察会 ・17:00 解散予定
- ◆申込：7月25日(金)までに「参加申込書」を郵送、FAX、Eメールのいずれかでお送りください。

III. 『笠岡アマモ再生教室』

- ◆日時：会場・内容
- ◆申込：2週間前までにお申込ください。

	日	時間	会場	内容
1	6月6日(金)	10～12時	見崎公会堂	現地取組学習会(森中氏)、並びに現地観察会
2	8月8日(金)	10～12時	見崎公会堂	種子採集作業体験
3	10月17日(金)	10～12時	見崎公会堂	種子播種ポット植付⇒育苗キットの製作体験
4	1月23日(金)	6～9時	見崎公会堂	苗の定植体験

- ◆講師：森中憲次氏(神島見崎里浜づくり代表) ※参加予定者には、集合場所の地図を郵送します。
- ◆定員：30名 現地集合 ※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先。
- ◆参加費：1人500円(年齢関係無)、おかやま環境ネットワーク個人会員並びに同居家族は無料(年会費:2,000円)

- ◆お申込は 公益財団法人おかやま環境ネットワーク 〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)
 Tel/Fax:086-256-2565 E-mail:kankyounet@okayama.coop 詳しくはHPをご覧ください。http://www.okayama.coop/kankyounet/
 ※お預かりした個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

..... 切り取り線

公益財団法人おかやま環境ネットワーク体験プログラム 参加申込書

参加希望番号に「○」をしてください		I. 『海ホテル夜間観察会』		II. 『高島干潟 いきもの観察会』	
		III. 『笠岡アマモ再生教室』⇒6月6日(金) 8月8日(金) 10月17日(金) 1月23日(金)			
代表者	フリガナ氏名	年齢	歳	電話番号	
	おかやま環境ネットワークの個人会員ですか			はい・いいえ	
	住所	(〒 -)			
フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳

旭川源流大学実行委員会

「旭川源流大学 旭川まるごと探検隊」

1. 事業の目的

旭川源流部の鏡野町富地区・新庄村・蒜山津黒高原の3地区を3年毎に1回1泊2日で地元と共催でボランティア調査・学習をするという「旭川源流大学」の企画は、2010年度から毎年継続して実施されており、2013年度は4年目にあたる。丁度、旭川の3地区を一回りしたことになる。活動を継続することで地元との交流や調査データがさらに蓄積されていき、地元の地域課題や、源流大学の企画運営の課題、行政や他団体との交流課題などがより鮮明になってきた。活動の目的も当初の市内の科学系サークルの中高生に県内の野生生物調査の良好なフィールドと良質な学習プログラムを提供することから、地元市民の要望を取り入れた学生による自然保全のボランティア作業を付け加えてきている。2012年度からは、更に市民の参加プログラムも1日講習という形で追加して、活動目的に、市民に良好な自然体験プログラムを提供することが追加されてきた。またこの年同時に、旭川流域の源流部だけでなく、中流域（竹枝かいぼり調査・宇甘川大野川生き物調査）や下流の干潟（高島干潟調査）までを年1回の市民による野生生物モニタリング調査を開始してきた。このことで、活動の目的に、旭川の野生生物の市民による定期観察調査（市民によるモニタリング調査）を追加している。

2. 主な活動

2013年5月3日～4日指導者講習会（26名）、8月9日～10日中高生キャンプ（中高生32名・スタッフ28名）で実施。

3. この活動の成果

①第4回旭川源流大学中高生キャンプを実施して地元にも参加者にも今後の活躍に繋がる経験を積むことができた。②安全に有効な自然体験プログラムの開発を行うことができた。③旭川源流部富地区に於いて、数十人規模の宿泊研修を定期的実施する企画運営の実績ができた。④鏡野町教育委員会の後援で富地区の歴史文化資料（たたら資料館・旧森江邸・富歴史文化資料館）を有効活用することができた。⑤檜西地区の和紙保存会の方々の協力で和紙作成の過程の見学実習を行うことができた。⑥余川の水力を使用した珍しい製材機の見学実習を行うことができた。⑦地元婦人会の協力により参加者全員の2日間の食事を安価に提供して頂くことができた。⑧地元の白賀川地域協議会の方々の協力により白賀川の遊歩道補修・トイレハウスの補強・炭焼き作業のボランティア作業を安全に実施することができた。⑨白賀釣りセンターの協力により、ヤマメ放流と野生のオオサンショウウオ見学を実施できた。⑩岡山理科大学地域支援研究会により、水生生物および岩石地質の調査観察を安全に実施できた。⑪自然保護センター西本孝氏などの協力で植物観察学習を実施できた。⑫旭川流域ネットワークの協力により、「旭川源流の碑」建立と「たたら製鉄」の講習を実施することができた。⑬鏡野町長のご厚意により、旭川源流大学修了証書を参加者全員に発行することができた。⑭中高生の参加者は、山陽学園中学高等学校生物部（6名）、芳泉中学校科学部（12名）、関西高等学校理学部（6名）、岡山理科大学附属高等学校科学部

（8名）、計32名。スタッフ28名（講師4名、大学生スタッフ16名、本部運営スタッフ8名）で総勢60名。現地の白賀川地域協議会の方々は森江勇夫会長ほか20名、婦人会の方々10名の計30名。開会式や施設警備などで鏡野町長ほか4名の参加。

4. 今後の計画・展望について

富地区での水生生物の生息調査資料は安全な観察地の情報が更に蓄積することができた。

植物に於いては2011年の調査で片山久氏による標本があり、今回の西本氏の観察データと合わせて集積が進んだ。哺乳類の観察データは2011年の理科大学の小林秀司氏のグループ研究がある。鳥類は2011年と今回の2013年の2回分の岡山野鳥の会の大塚利昭氏による観察データがある。今後の観察プログラムの熟成のためには、これらのデータを集計して近年の富地区の野生生物の概況を総攬する資料を作成する必要がある。

また、両生類や爬虫類の調査は、近年始まったばかりであり、現在オオサンショウウオの生息調査を始めているところである。

関係者全員の皆さまの温かいご協力に支えられてこれまで無事故で継続できたことに、心より感謝申し上げます。



白賀溪谷での水生生物調査観察

林 浩志

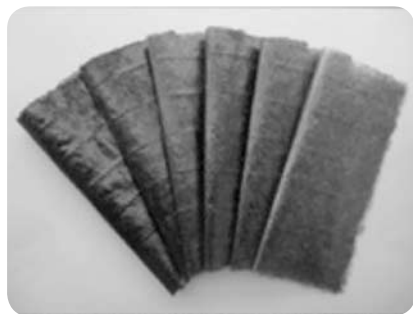
(岡山県農林水産総合センター水産研究所専門研究員)

『里海健康診断 ーモニタリング調査からみた 水質の変化ー』



岡山県沿岸海域は瀬戸内海の中央部に位置し、東西に細長く水路状である。また、島々が点在し、海岸線が入り組んでいることから潮流は複雑である。さらに、河川を通じて流入する陸水の影響を強く受けて水質の変化も大きい。

河口周辺ではノリ養殖、島影ではカキ養殖が営まれ、小型底びき網や小型定置網漁業等の漁船漁業も盛んである。かつては夏季に植物プランクトンが過剰に増殖し、高水温と相まってマガキがへい死したり、河口周辺から離れた漁場でも盛んにノリ養殖が営まれていたが、近年では秋季水温の上昇や冬季の栄養塩不足等の影響により、カキの身入りが遅れたり、ノリが色落ちするなど大きな被害をもたらしている。



黒いノリと色落ちしたノリ

水産研究所では1972年から毎月1回、沿岸定点で水温、塩分及び栄養塩等の水質を調査している。モニタリングデータは、漁場環境の実態を正確に把握し、海象の様々な要因を多面的に評価するために不可欠である。今回、

水温、溶存態無機窒素濃度（以下DIN）とクロロフィルa濃度（以下Chl-a）について年代別の状況を整理し、関連性を調べた。

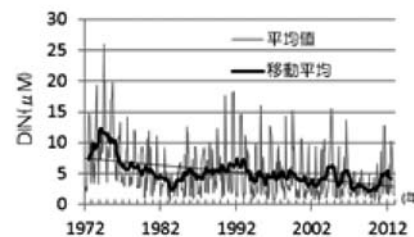


DINの分析

県沿岸海域の1972～2012年の水温上昇率は0.03℃/年で、夏季の水温は2000年以降急激に上昇し、秋季の水温上昇は単調であった。冬季は1987年以降に顕著な水温上昇が見られたが、最近10年間の上昇傾向は見られなかった。秋季の水温下降の遅れは海域により異なり、特に児島湾口付近で顕著であった。DINは年変動が大きいものの、1970年代前半にピークとなった後、1980年代前半にかけて低下し、1990年代前半にかけて増加、その後再び減少に転じ、2009年から2010年にかけて最低となった。過去からの推移を見ると明らかに減少しており、1972～2012年の減少率は0.11μM/年であった。Chl-aも年変動が大きいものの、過去からの推移を見ると1970年代後半から増減を繰り返しながら低下していた。1977～

2012年の減少率は0.05μg/L/年であった。

未解明な部分もあるものの、本県海域ではDINや植物プランクトンが減少傾向にあり、海域が貧栄養化していると考えられ、豊かな里海を回復させるために、望ましい水質や生態系等について議論する必要がある。



DINの経年変化

用語の解説

- ・DIN：水中に溶解している無機態の窒素塩で、ノリや植物プランクトン等の栄養となる。
- ・μM、μg/L：水中の物質濃度を示す単位で、それぞれ溶液中の溶質の物質質量と重量を表す。
- ・クロロフィルa：植物プランクトン等に含まれる葉緑素系色素で、植物プランクトン量の指標となる。

林 浩志 氏

1965年生まれ
岡山県農林水産総合センター
水産研究所
水圏環境室専門研究員

エコウェーブおかやま（世話人 谷合裕子） 『おかやまコメ読本』 出版紹介

2013年9月30日、「エコウェーブおかやま」は、地域発のオーガニックガイド『おかやまコメ読本』を吉備人出版から出版しました。

2000年10月『エコウェーブおかやま～行ってみる。やってみる。人と自然にやさしいお店とくらしガイド』2005年6月『おかやまエコ読本～農と食と暮らしのガイド エコウェーブおかやま2』に続くエコライフガイドブック第3弾です。



左『おかやまエコ読本』
右『エコウェーブおかやま』

今回は日本のくらしの礎となる「コメ」に重点を置いてエコロジカルなくらしの提案をしています。安心で美味しいお米を作っている生産者や農法、そのお米を売っているお店、おいしいご飯を食べられるお店の紹介。四季折々のおいしいご飯の食べ方やおかやまばらしの作り方。お米からできる調味料(みりん・麴・味噌・酢)や米粉、お酒の情報など。



岡山大豆倶楽部(※)の様子

「台所」の章は、お米にまつわるエトセトラで、読み物としても面白くまとめてあります。コメの品種の話はエコウェーブの取材力の真骨頂、目からうろこです。エコウェーブメンバーでの炊き比べの記事も好評でした。そして巻頭エッセイが岡山ゆかりの作家の原田マハさん。瀬戸内市の田園風景とともに感動を呼びます。

以前の2冊よりも持ち運びやすくということでコンパクトにまとめてありますが、農薬の話や口コミ情報、米つくりや農業体験のできる場の紹介など、情報はギュッと詰め込んであります。一方で写真ページもさらに美しくあがっていて茶碗や土鍋のページはカタログ誌のようです。



岡山大豆倶楽部(※)の様子



今回は取材中に東日本の大震災、東京電力福島原発メルトダウンという不幸な事故が起きてしまいました。3年たった現在も放射能の大気や海中への放出は止まっていません。私たちは化学物質のほかに放射能というリスクを負って暮らさざるを得なくなってしまいました。東日本に比べてまだ安全な西日本の食の重要性は増しつつあります。温暖な気候風土のおかげでおいしい農産物があり、内海である瀬戸内海に面していてまだ安全な魚介類がある岡山は人気の移住地になっています。「移住組」という言葉もできるほど、食やエコに関心が高い人たちが移り住んできています。この地に暮らす人たちのガイドとしてこの本が役立ってほしいと願っています。エコウェーブおかやまは1999年に結成して15年、エコの種をまき続けています。

※岡山大豆倶楽部：エコウェーブおかやまのもう一つの柱の活動として行っています。

くらしの中の 気になる数字

Q：日本で初めて指定された国立公園は

A：1934年3月16日に指定された「瀬戸内海国立公園」「雲仙天草国立公園」「霧島錦江湾国立公園」の3カ所です。

『瀬戸内海国立公園』

～多くの人が讚えた島々と

海が織りなす景観美～

大小1000余りの島々が穏やかな内海に浮かぶ見事な景観で知られます。瀬戸内海は、古代から近代にかけて海外との文化交流のルートとして利用されていたこともあり、国内はもとより、江戸時代に蘭学を教えたドイツ人医師・シーボルトや、朝鮮から外交使節団として派遣された朝鮮通信使など、多くの外国人がその美しさを誉め讚えた場所でもあります。

最初に国立公園に指定されたのは、岡山県と香川県の間広がる「備讃瀬戸」と呼ばれる海域を中心としたエリア。その後範囲を広げていき、現在では、紀淡、鳴門、関門、豊予の4つの海峡に囲まれた1府10県にまたがり、陸域・海域を含めると、国内で最も面積が広い国立公園となっています。最近では周防大島沖に分布する大規模なニホンアワサングの群集や藻場などの優れた海中景観が確認され、瀬戸内海で初となる海域公園地区も誕生しました。

内海多島海に代表される自然景観だけでなく、古い港町の家並みや、段々畑などの人の手によって生み出された風景もあいまって、趣のある特徴的な景観を形成しており、エリアが広いため、多くの見どころがあります。岡山県の鷲羽山、広島県の宮島、徳島県の鳴門海峡なども、瀬戸内海国立公園に含まれています。

ニュースへのチラシ等の 同封に関するお知らせ

おかやま環境ネットワークで年4回(5・7・11・3月発行予定)会員の皆様にニュースを発送していますが、会員団体の各種イベントのチラシ等を同封することができます。

同封希望がありましたら、発行前月の第2週末までに事務局へご連絡ください。

※メールニュースは毎月第2・4水曜日を基本に発行しています。メールニュースへの掲載希望がありましたら、毎月第2・4月曜日までに原稿を事務局に送信ください。

器材貸し出しについて

プロジェクター・スクリーンを会員の皆様にお貸しします。詳しくはホームページ「入会案内」のページの下部をご覧ください。

ホテル団体交流会の ご案内

団体あるいは個人でホテルの保護、復活、再生を通し、環境保全活動をすすめる取り組みの交流をすすめています。

7月12日(土)13時30分～15時30分、オルガ5階会議室にて開催し、県内各地の取り組み交流をすすめます。どなたでも参加できます。※参加される際には、資料の準備のため事前にお申込ください。

メールニュース会員 募集中

おかやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。配信希望の方はメールにて、件名：『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、所属団体・会社名(任意)を送信してください。

現在1,180名にご登録いただいています。

会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

豊かな郷土を子どもや孫に残しましょう。緑の地球環境を守るため、あなたにもできることがあります。

会員となって、運営を支えることは、誰でもできる環境ボランティアです。

【年会費】

個人・団体：2,000円

企業等：20,000円

学生：無料(大学生、大学院生、高校生、就職時は対象外)

.....
 2014年度会費をまだ納付していない会員の皆様に振込用紙を同封しておりますので、お振り込みくださいますよう、お願いいたします(入れ違いでお振り込みいただいておりますらご容赦ください)。
 会費は、企業・協同組合：1口2万円、団体・NPO法人・個人：1口2千円、1口以上をお願いいたします。



発行：公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026

岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)

TEL/FAX 086-256-2565

E-mail: kankyounet@okayama.coop

HP: http://www.okayama.coop/kankyounet/

かけがえのない地球、未来のこどもたちへ!